

【基本方針1】子育ての喜びを共感するまちづくり

①子育て情報の収集・発信

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
1	子育て支援に関する情報の提供	子育て家庭が必要としている情報を取りまとめ、わかりやすく情報提供します。	子育て支援課	◆育児を応援する行政サービス情報ガイド「ママフレWebサイト」による情報提供	1回更新	その都度更新	実施するも設定レベルは未達成	ママフレの更新については、業者委託のため、タイムリーな対応が難しい	継続実施 H29.7下旬に内容修正・新規追加分を公開
2	子育て支援に関する窓口の一元化	子育て支援に関する窓口の一元化を図り、各課所や関係機関・団体等で取り組んでいる各種施策を集約し、情報発信します。	子育て支援課	◆子育て支援に関する窓口の一元化 ◆子育て関連情報の集約・発信	子育て情報誌「くれよん」及び「子育て応援ブックすくすく」を発行	「子育て応援ブックすくすく」を発行	設定レベルを達成	複数の媒体があるため、情報の効率的な整理統合が必要である	継続実施
3	両親学級・育児学級の開催	妊娠・出産・育児の知識の習得とともに、仲間づくりをめざし、妊婦とその家族を対象としたコース学習を実施します。	保健センター	◆両親学級・育児学級の継続実施	1コース3回・年4コース 妊婦 217人 夫 50人 合計 267人	1コース3回・年4コース 妊婦 230人 夫 60人 その他 1人 合計 291人	設定レベルを達成	1コース3回に増やし、仲間づくりを目的とした教室開催が充実してきている	1コース3回・年4コースで継続実施
4	妊婦・乳幼児期における育児の情報提供	両親学級（妊婦）・乳児相談・幼児健診（1歳6か月児・3歳児）等において、妊婦・乳幼児期からの食の重要性や正しい生活習慣を身に付けるための情報を提供します。	保健センター	◆妊婦・乳幼児期からの育児に関する情報の提供	母子健康手帳交付時や各種健診・相談・教室等あらゆる機会を通じて実施	母子健康手帳交付時や各種健診・相談・教室等あらゆる機会を通じて実施	設定レベルを達成	学級開催や健診時など、あらゆる機会を通じて情報提供ができています	継続実施
5	子育て支援相談体制の充実	子育て家庭の身近な地域において、必要とされる情報提供・相談・助言等を行うための環境整備や関係機関との連絡調整機能を強化するためのキーパーソンとなる子育て相談員等の人材育成などを行います。	子育て支援課	◆利用者支援事業の実施	1か所で実施	2か所（基本型・特定制）で実施	設定レベルを達成	基本型に加え、特定制（市窓口）としての子育て支援コーディネーターを設置し、ニーズに応じた円滑な支援に努めた関係機関との連絡調整機能を強化していく必要がある	基本型・特定制の継続実施と、H30年度以降の母子保健型の設置に向けて協議に取り組む

②妊娠・出産期家庭への切れ目のない支援

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
6	母子健康手帳の交付	妊娠の届出により、母子健康手帳を交付し、妊娠から出産まで安心して健康に過ごせるよう、保健指導を行います。	保健センター	◆母子健康手帳交付の継続実施	980冊	945冊	設定レベルを達成	母子健康手帳交付時にハイリスクについては、妊娠期から関わりを持つよう努め、医療機関等関係機関の連携を図る必要がある	継続実施
7	乳児家庭全戸訪問事業の実施	生後4か月までの乳児がいる家庭に対し全戸訪問を行い、育児不安が解消されるように相談等に応じます。	保健センター	◆乳児家庭全戸訪問事業の継続実施	977件 訪問率 97.4%	931件 訪問率 96.7%	設定レベルを達成	—	継続実施
8	子育てネットワーク事業の実施	生後3～5か月頃の家庭に対して、主任児童委員等が見守り訪問等による支援活動を行います。	保健センター	◆子育てネットワーク事業の継続実施	訪問件数 516件 不在 324件 不明転出 58件	訪問件数 512件 不在 295件 不明転出 48件	設定レベルを達成	訪問率が高まり、地域での子育て支援の一環として強化されている	継続実施

③子育て家庭と地域とのつながりづくり

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
9	子育てサロン事業の充実	各公民館等において、主任児童委員が主となり地域福祉関係者の参加・協力を得て、地域の子育てをしている保護者と婦人会や自治会などの子育て経験者との交流の場をつくりまします。	地域福祉課	◆市内各校区における子育てサロン事業の継続実施	14か所	14か所	設定レベルを達成	—	継続実施 船木校区及び角野校区での開設を予定
10	地域ボランティアによる見守り活動の推進	学校や地域との連携を深め、登下校時における子どもの見守り活動や声かけ運動などを行い、交通事故や犯罪等からの被害防止に努めます。	社会教育課 学校教育課 (H29～)	◆市内小学校区（16校区）における地域ボランティアによる見守り活動の継続実施	16校区	16校区	設定レベルを達成	—	継続実施
11	子育てに関するNPO等各種市民活動団体への支援	子育てに関する各種市民活動団体のネットワーク化等を支援します。	地域コミュニティ課	◆各種市民活動団体支援の継続実施	41団体	41団体	設定レベルを達成	—	各種市民活動団体への中間支援を継続実施
12	エンゼルヘルパー事業の推進	妊娠・出産期にある家庭に対して、必要に応じてヘルパーを派遣します。	子育て支援課	◆エンゼルヘルパー事業の継続実施	登録 30人	登録30人 (H29.3.31現在)	実施するも設定レベルは未達成	関係機関との連携や広報誌等により広報してきたが、まだまだ周知不足が見られる	継続実施
13	校区別子ども・子育て会議の設置	市内各校区において、地域と子育て家庭を結び付けるための組織化を図ります。	子育て支援課	◆市内各校区において、子育て支援の推進母体となる組織の設置運営	未実施	未実施	未実施	子育てにとどまらず、あらゆる行政課題の解決が校区に求められているため、取り組み手法の十分な検討協議が必要である	実態把握を踏まえた調査研究
14	保護者が気軽に集い、意見を出し合える場の設置	子育て世代の保護者が気軽に集まることができる機会を設け、ざっくばらんに意見や感想を出し合う中で、子育てにおける生の声や問題点を顕在化し、解決に向けた端緒とするとともに、保護者同士の緩やかなネットワークづくりを進めます。	男女共同参画課	◆にいはま子育て部ミーティング（茶話会）の継続実施	1回	1回	実施するも設定レベルは未達成	市内の18～45歳の女性1000名にアンケート送付し、意見聴取。その後女性討論会という形で場を設けたが、女性の暮らしや働き方をメインに話したため	同様の手法で3年間実施したため、一旦休止する。内容を再検討して今後につなげる。
15	子育て家庭応援プロジェクト事業の推進	子育て支援及び少子化対策に資するため、本市の特性と保護者ニーズに合致した包括的で有効な政策を推し進めます。	子育て支援課	◆家庭内保育世帯に対する子育て家庭応援券交付事業の実施 ◆子育て応援パスポート交付事業の実施	子育て家庭応援券交付事業及び子育て応援パスポート交付事業を実施	子育て応援パスポート事業を実施	実施するも設定レベルは未達成	パスポートを利用できる店舗数は増えた。保育園・幼稚園等の協力が得られ、未就学児に配布できた。今後は学校教育課と協議するなど、より多くの対象者への交付を図る必要がある	子育て応援パスポート事業の継続及び愛顔の子育て応援事業券（紙おむつ対応応援券の交付・県内全域で実施の予定）の実施

【基本方針2】安心して子育てできるまちづくり

①家庭の実情に応じた教育・保育の確保と提供

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
16	教育・保育の量的確保と質的向上	保護者の就労等により保育を必要とする子どもを保育します。	子育て支援課	◆通常保育・障がい児保育・休日保育事業の継続実施	通常保育27施設、障がい児27保育施設、休日保育1施設	通常保育27施設、障がい児27保育施設、休日保育1施設	設定レベルを達成	—	継続実施
17	預かり保育・延長保育事業の実施	私立幼稚園・私立保育所・認定こども園において、開園時間を延長し、就労している家庭の実態に応じたサービスを提供します。	子育て支援課	◆預かり保育・延長保育事業の継続実施	私立保育所16施設 地域型保育事業所1施設	私立保育所16施設 地域型保育事業所1施設	設定レベルを達成	新制度移行により、認定こども園1施設及び地域型保育事業所4施設が増えている	継続実施

18	一時預かり事業の実施	1歳以上の未就学児であって、保護者の就労や傷病、私的理由等により緊急または一時的に保育を必要とする子どもを預かります。	子育て支援課	◆一時預かり事業の継続実施及び拡充	公立保育所2施設 (延べ利用人数： 若宮1,822人 垣生1,376人 合計3,198人) 地域型保育事業所 4施設(延べ利用 人数：合計415人)	公立保育所2施設 (延べ利用人数： 若宮2,653人 垣生1,351人 合計4,004人) 地域型保育事業所 4施設(延べ利用 人数：合計1,206 人) 認定こども園1施 設(延べ利用人 数：221人)	設定レベルを達成	—	継続実施
19	休日保育事業の実施	日曜日及び祝祭日において、保育を必要とする家庭を支援するため、休日保育サービスを実施します。	子育て支援課	◆休日保育事業の継続実施	新居浜八雲保育園 1施設 延べ利用者 人 (2.人/日)	ひまわり乳児園1 施設 延べ利用者 人 (2.9人/日、3月末 現在)	設定レベルを達成	新居浜八雲保育園での実施は27年度限り	継続実施
20	認定こども園の整備	多様な教育・保育施設の確保を図ります。	子育て支援課	◆認定こども園の整備充実	1施設	2施設を整備	設定レベルを達成	幼稚園2施設の幼保連携型認定こども園移行に向けて、施設整備すると共に認可の協議を行っている	平成30年度以降の移行に向けた協議継続
21	地域子育て支援拠点事業の充実	子育て家庭のニーズに対応した施設機能の充実・強化を図ります。	子育て支援課	◆地域子育て支援拠点事業の充実	7施設で実施	8施設で実施	設定レベルを達成	新たに上部地区に1施設増設し、身近な場所で相談、情報提供、子育てサークルの育成支援などの活動を通じ、地域全体で子育てを支援した各ひろばの特徴を活かした内容の充実に努める必要がある	継続実施 各ひろばの特徴を活かし内容の充実に努めかつ周知していく
22	保育士人材バンクの活用	保育士不足の解消につなげ、保育士の安定的な確保を図り、柔軟な保育の提供体制を整備します。	子育て支援課	◆保育士人材バンクの設置及び活用	保育士再就職セミナー受講者の情報を収集	保育士再就職セミナー受講者の情報を収集	実施するも設定レベルは未達成	保育士人材バンクを整備する上では、パート保育士等の雇用・活用が前提条件となる	継続実施 潜在保育士の掘り起しの工夫を図る

②子育てに伴う不安や負担の軽減

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
23	家庭児童相談の充実	子育て支援課に家庭児童相談室を設置し、家庭環境、児童養育、児童虐待等について相談に応じるとともに、児童相談所との連携のもとに、適切な対応を行います。	子育て支援課	◆家庭児童相談の充実	相談件数 997件	相談件数 1150件	設定レベルを達成	—	継続実施
24	乳幼児相談の充実	5か月児健康相談を月2回、おおむね6か月から1歳までの乳児を対象に、乳児相談を月1回実施します。また、保健師・栄養士・歯科衛生士により、乳幼児の個別の相談やダイヤル相談を実施します。	保健センター	◆乳幼児相談の充実	5か月 24回/年 実施 来所者903 人(90.7%) すくすく 12回/ 年実施 来所者 202人 ダイヤル相談 1215件/年	5か月 24回実 施 来所者834人 (87.1%) すくすく 12回実 施 来所者267人 ダイヤル相談 1,500件/年	設定レベルを達成	—	継続実施
25	ほっとコーナーの実施	主任児童委員が相談の受け手となり、不登校の子どもの親の悩みや子育ての相談に応じ、子育てに対する不安解消や児童へのサポートを行います。	地域福祉課	◆ほっとコーナーの継続実施	月1回実施 (第4土曜日)	月1回実施 (第4土曜日)	設定レベルを達成	事業の市民への周知	継続実施

26	地域子育て支援拠点事業の充実【再掲】	子育て家庭のニーズに対応した施設機能の充実・強化を図ります。	子育て支援課	◆地域子育て支援拠点事業の充実 H29 7施設 H31 7施設	7施設で実施	8施設で実施	設定レベルを達成	新たに上部地区に1施設増設し、身近な場所で相談、情報提供、子育てサークルの育成支援などの活動を通じ、地域全体で子育てを支援した各ひろばの特徴を活かした内容の充実に努める必要がある	継続実施 各ひろばの特徴を活かし内容の充実に努めかつ周知していく
27	ファミリー・サポート・センター事業の充実	子育てを支援するために、「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「子育ての手助けができる人（提供会員）」が地域の中で相互援助を行います。	子育て支援課	◆ファミリー・サポート・センター事業の充実	活動件数 3,000件	活動件数 2,796件 (H29.3月末現在)	設定レベルを達成	「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「手助けができる人（提供会員）」が地域の中で相互援助が行えているが、まだまだ周知不足が見られる	継続実施 会員募集の周知が必要である
28	放課後児童健全育成事業の充実	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校1～3年生の子どもを対象として、学校の余剰教室等を活用して、生活と遊びの場を設けます。また、小学校4年生は長期休みのみ受け入れます。	社会教育課	◆放課後児童健全育成事業の充実	25クラブで実施（うち1クラブは民営）	26クラブで実施（うち1クラブは民営）	設定レベルを達成	利用児童数の増加に合わせてクラブを増設のうえ運営した	継続実施
29	子育て短期支援事業（ショートステイ）の実施	保護者の疾病・出産・経済的問題等により、子どもを養育することが困難な場合に緊急一時的な保護を実施します。	子育て支援課 東新学園	◆子育て短期支援事業（ショートステイ）の継続実施 H29 2施設 H31 2施設	2施設	2施設	設定レベルを達成	—	継続実施
30	子育て短期支援事業（トワイライトステイ）の実施	保護者が仕事その他の理由により平日の夜間または休日に不在となり、児童を養育することが困難となった場合に児童を通所させ、生活指導や食事の提供等を行います。	東新学園	◆子育て短期支援事業（トワイライトステイ）の継続実施 H29 1施設 H31 1施設	1施設	1施設	設定レベルを達成	—	継続実施
31	病児・病後児保育事業の充実	乳児・幼児又は小学校に就学している児童が病気で保護者が家庭で保育できないときに、専用施設で一時的に保育を行います。	子育て支援課	◆病児・病後児保育事業の充実 H29 1施設 H31 2施設	なかよし園1施設 利用延べ人数 232人	なかよし園1施設 利用延べ人数 220人	設定レベルを達成	—	継続実施
32	休日夜間急患センターの運営	新居浜市医師会内科・小児科急患センターにおいて、内科・小児科の休日診療、夜間診療、深夜（小児）診療を行います。	保健センター	◆休日夜間急患センターの継続実施	休日診療 70日 4,185人 夜間診療 296日 3,023人 深夜診療 296日 1,002人	休日診療 70日 4,320人 夜間診療 295日 3,225人 深夜診療 295日 1,033人 日曜夜間診療 52日 787人	実施するも設定レベルは未達成	休日夜間診療の実施について、出務医師確保が困難なため日曜日のみとなった	休日夜間急患センターの継続実施と出務医の負担軽減の検討
33	在宅当番医制の運営	各担当医師の診療所において、外科の休日診療を行います。	保健センター	◆在宅当番医制の継続実施	70日・960人	70日・957人	設定レベルを達成	—	外科休日診療の継続実施
34	障がい児タイムケア事業の実施	障がい児（小・中・高校生）を対象に、学校の放課後や長期休みにおいて、適切な遊びや生活指導等を実施し、障がい児の健全育成と保護者の就労支援及び家族の負担軽減を図ります。	地域福祉課	◆障がい児タイムケア事業の継続実施	実利用者数 22名 利用回数 延べ 1,570回	実利用者数 19名 利用回数 延べ 1,574回	設定レベルを達成	—	継続実施

35	日中短期入所事業の実施	障がい者（児）の日中における活動の場を確保し、保護者の就労支援及び家族の負担軽減を図ります。	地域福祉課	◆日中短期入所事業の継続実施	利用回数 1,682回	利用回数 1,581回	設定レベルを達成	—	継続実施
36	障がい児家庭への各種手当の支給	障害児福祉手当、特別児童扶養手当（20歳未満）など障がい児家庭への支援を行います。	地域福祉課 子育て支援課	◆障がい児家庭への各種手当支給の継続実施	障害児福祉手当 受給者数 99人 特別児童扶養手当 受給者数 289人 (H27.12月末)	障害児福祉手当 受給者数 94人 特別児童扶養手当 受給者数 289人 (H28.12月末)	設定レベルを達成	H28.1月より個人番号制度が導入されたため、適正な事務の運営に努める必要がある	継続実施
37	自立支援給付事業の実施	保護者が病気等で家庭での介護が困難な場合の短期入所事業や居宅介護事業等を行い、障がい児の健全育成と保護者の負担軽減を図ります。	地域福祉課	◆自立支援給付事業の継続実施	利用者 延べ 249人	利用者 延べ 249人（見込）	設定レベルを達成	—	継続実施
38	障がい児通所支援事業の実施	障がい児の年齢や障がい特性に応じて「児童発達支援」や「放課後等デイサービス」等の通所支援を行い、障がい児の健全育成と保護者の負担軽減を図ります。	地域福祉課	◆障がい児通所支援事業の継続実施	利用者 延べ 3,087人	利用者 延べ 3,087人（見込）	設定レベルを達成	—	継続実施
39	障がい児相談支援の実施	障がい児支援利用計画の作成、サービス事業者等との連絡調整及び利用状況を検証し、計画内容の見直しを行うモニタリングなど、利用者の適切なサービス利用に向けたきめ細やかな支援を行います。	地域福祉課	◆障がい児相談支援の継続実施	利用者 延べ 578人	利用者 延べ 578人（見込）	設定レベルを達成	—	継続実施
40	児童手当の支給	受給要件を満たす保護者に対して手当を支給します。	子育て支援課	◆児童手当支給の継続実施	児童手当受給者数 9,278人 (H27.12月末)	児童手当受給者数 9,207人 (H29.3月末)	設定レベルを達成	—	継続実施
41	就学前医療費の助成	就学前児童の保険診療の自己負担分を助成します。	子育て支援課	◆就学前医療費助成の継続実施	就学前医療費助成 対象者数 5,632人 (H27.12月末)	就学前医療費助成 対象者数 6,028人 (H29.3月末)	設定レベルを達成	—	継続実施
42	幼稚園就園奨励費補助金の給付	公立幼稚園就園世帯については、所得の状況に応じた階層区分による保育料を新たに設定します。また、私立幼稚園就園世帯に対しては、引き続き所得に応じて補助金を交付します。	学校教育課	◆幼稚園就園奨励費補助金給付の継続実施	私立（対象：991人、補助金額83,367千円）	私立（対象：978人、補助金額85,315千円） (H29.1月末)	設定レベルを達成	世帯の所得の状況に応じた補助金の交付により負担軽減が図られた	低所得世帯のさらなる負担軽減を検討
43	不妊治療費の助成	不妊に悩む人が特定または一般不妊治療を受けたときにその費用を助成し、経済的負担を軽減します。	保健センター	◆不妊治療費助成の継続実施	特定不妊治療 60人 一般不妊治療 27人	特定不妊治療 77人 一般不妊治療 36人	設定レベルを達成	—	継続実施
44	保育料等利用者負担の見直し	特定教育・保育施設に係る保育料等利用者負担の公平性を確保します。	子育て支援課 学校教育課	◆新制度の施行に合わせた幼稚園・保育園・認定こども園等の保育料設定（延長保育料・一時保育料等を含む）の見直し及び応能負担による公平性の確保	小学校3年生以降の第3子目保育料の無料化 世帯の所得の状況に応じた応能負担の幼稚園保育料を設定	保育所保育料の小学校3年生以降第2子目保育料を半額	設定レベルを達成	小学校3年生以降の第2子目保育料の半額適用により利用者負担軽減が図られた	継続実施
45	子育て用品リユース・リース事業の推進	子育て用品のリユース・リース事業を実施することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。	子育て支援課	◆子育て用品リユース・リース事業の継続実施	対象用品（ベビーベッド・ベビーカー・チャイルドシート） ●リユース 引取 13件 引渡 13件 ●リース 7件	対象用品（ベビーベッド・ベビーカー・チャイルドシート） ●リユース 引取 21件 引渡 19件 ●リース 14件 (H29.3月末)	実施するも設定レベルは未達成	平成26年度より3か年、関係機関との連携や広報誌等により広報し、子育て用品の提供と補助をしてきたが、利用件数が少なく、事務事業評価も実績が少ない	利用件数が少なく、事務事業評価も実績が少ないため廃止

46	三世同居または家庭内保育世帯に対する支援	三世同居が可能な世帯の促進や家庭外と家庭内における保育に対する行政支援の不公平の是正を図ります。	子育て支援課	◆家庭内保育世帯に対する子育て家庭応援券交付事業の実施【再掲】	子育て応援パスポート交付事業のみ実施	子育て応援パスポート事業を実施	実施するも設定レベルは未達成	パスポートを利用できる店舗数は増えた。保育園・幼稚園等の協力が得られ、未就学児に配布できた。今後は学校教育課と協議するなど、より多くの対象者への交付を図る必要がある	子育て応援パスポート事業の継続及び愛顔の子育て応援事業（紙おむつ対応応援券の交付・県内全域で実施の予定）の実施
----	----------------------	--	--------	---------------------------------	--------------------	-----------------	----------------	--	---

③ひとり親家庭に対する負担の軽減

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
47	児童扶養手当の支給	支給要件を満たす、母親または養育者に対して扶養を支援する手当を支給します。	子育て支援課	◆児童扶養手当支給の継続実施	児童扶養手当資格者数 1,497人 (H27.12月末)	児童扶養手当資格者数 1,376人 (H29.3月末)	設定レベルを達成	H28.1月より個人番号制度が導入されたため、適正な事務の運営に努めてゆく必要がある	継続実施
48	ひとり親家庭医療費の助成	受給要件を満たす母子家庭及び父子家庭について、保険診療の自己負担分を助成します。	子育て支援課	◆ひとり親家庭医療費助成の継続実施	ひとり親家庭医療費受給者数 3,471人 (H27.12月末)	ひとり親家庭医療費受給者数 3,275人 (H29.3月末)	設定レベルを達成	H28.1月より個人番号制度が導入されたため、適正な事務の運営に努めてゆく必要がある	継続実施
49	母子父子寡婦福祉資金の貸付	就学支度金、修学資金、転宅資金等の貸付について相談や申請を行います。	子育て支援課	◆母子父子寡婦福祉資金貸付の継続実施	貸付件数 28件 (H27.12.31)	貸付件数 26件 (H29.3.31)	設定レベルを達成	貸付相談者との面談により、貸付の可否を判断するため、件数による評価は難しいが、必要な貸付を適正に実施した	継続実施
50	母子家庭等自立支援給付金事業の実施	自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等を支給し、就業に効果的な知識や技能、資格の習得を支援します。	子育て支援課	◆母子家庭等自立支援給付金事業の継続実施	高等職業訓練促進給付金2人、高等職業訓練修了支援給付金4人に支給	自立支援教育訓練給付金1人、高等職業訓練促進給付金5人に支給 (H29.3末)	設定レベルを達成	ひとり親家庭の親の資格取得に向けた生活支援であり、件数による評価は難しいが、適正な支援を実施した	継続実施
51	母子及び父子家庭小口資金の貸付	緊急に生活資金が必要になった際に5万円を上限として資金の貸付を行います。	子育て支援課	◆母子及び父子家庭小口資金貸付の継続実施	貸付件数 0件	貸付件数 0件 (H29.3.31)	実施するも設定レベルは未達成	貸付相談はあったが、5万円を超えるため社会福祉協議会を利用等の理由により実績はなかった	H29年度から廃止予定
52	母子及び父子相談の充実	母子・父子自立支援員が生活上の相談を受け、自立を支援します。	子育て支援課	◆母子及び父子相談の充実	相談件数 247件 (H27.12.31)	相談件数 274件 (H29.3.31)	設定レベルを達成	ひとり親家庭の自立支援等に係る相談であり、件数による評価は難しいが、適切な相談対応を実施した	継続実施
53	子育て支援相談体制の充実【再掲】	子育て家庭の身近な地域において、必要とされる情報提供・相談・助言等を行うための環境整備や関係機関との連絡調整機能を強化するためのキーパーソンとなる子育て相談員等の人材育成などを行います。	子育て支援課	◆利用者支援事業の実施	1か所で実施	2か所（基本型・特定型）で実施	設定レベルを達成	基本型に加え特定型（市窓口）としての子育て支援コーディネーターを設置し、地域連携をとってニーズに応じた円滑な支援に努めた	基本型・特定型の継続実施と、H30年度以降の母子保健型の設置に向けて協議に取組む

④ワーク・ライフ・バランスの推進

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
54	若者の就業意識や子育てに関する意識の啓発	新居浜市雇用対策協議会を通じて、インターンシップ事業、マナー研修等を開催します。また、若年者を対象とした合同会社説明会、市内業種団体の若年者雇用確保事業に対する補助を行います。愛媛労働局等と連携し、市政だよりやCATVを活用した広報活動を実施します。	産業振興課	◆若者の就業意識や子育てに関する意識の啓発活動の継続実施	・インターンシップ前マナー研修・冊子配布(中学9校、高校3校、高専) ・若年求職者合同就職面接会(8月・ひめぎんホール)、合同会社説明会(8月・銅夢にいはま) ・就職活動準備講習(高校2校) 【合同会社説明会】(5月(大学生向け)・ひめぎんホール)(7月(高校生向け)レイ・グッツェふじ) 【若年者雇用対策事業補助金対象事業】(11月・新居浜建設業協同組合)	【雇用対策協議会】インターンシップ前マナー研修・冊子配布(中学9校、高校3校、高専) ・若年求職者合同就職面接会(8月・ひめぎんホール)、合同会社説明会(8月・銅夢にいはま) ・就職活動準備講習(高校2校) 【合同会社説明会】(5月(大学生向け)・ひめぎんホール)(7月(高校生向け)レイ・グッツェふじ) 【若年者雇用対策事業補助金対象事業】(11月・新居浜建設業協同組合)	設定レベルを達成	—	継続実施
55	男女が働きやすい環境の実現に向けたセミナーの開催	働きやすい環境づくりを進めるとともに、女性総合センターにおいて再就職援助事業を継続実施します。	男女共同参画課	◆再就職に向けた資格・技能習得支援の継続実施	17講座 延べ2,300人	12講座 延べ1,700人	設定レベルを達成	定員に達していない講座もあったが、再就職に向けた資格・技能習得の支援を実施した	継続実施
56	職業生活・家庭生活相談の充実	女性総合センターにおいて職業生活・家庭生活の相談を行います。	男女共同参画課	◆職業生活・家庭生活相談の継続実施	51回	51回実施中	設定レベルを達成	毎週相談を実施	継続実施
57	ハローワーク・商工会議所・市内企業等との連携	商工会議所会報等を活用し、仕事と子育ての両立について啓発活動を実施します。	産業振興課	◆ハローワーク・商工会議所・市内企業等との連携の継続実施	商工会議所会報9月号にワークライフバランスの文書折込	商工会議所会報9月号にワークライフバランスの文書折込	設定レベルを達成	—	継続実施
58	職場参観・ファミリーデーの設定	職場と子育て家庭との相互理解により、ワークライフバランスに対する理解を高め、社員満足度及び家庭満足度の向上を図ります。	男女共同参画課	◆子どもの夏休みなどに職場参観日等を設け、配偶者及び子どもに職場の様子を見て知ってもらう機会の設定	未実施	未実施	未実施	ワークライフバランスの推進や働き方の見直しに取り組んではいるが、職場参観などの設定についての直接的な働きかけはない	取り組みの中で職場参観等について機会があれば紹介
59	子育て応援企業・女性活躍等事業所の認定	仕事と子育ての両立及びワークライフバランスを図るよう企業の取組を認定し、安心して子どもを産み育てることができる環境整備を図ります。	子育て支援課 男女共同参画課	◆子育て応援及び女性活躍等を推進している企業に対して、認定プラス付加価値を付けることによる企業のイメージアップと雇用の促進	講演会実施2回 認定事業所7社	イクボス講演会実施2回 認定事業所11社(28年度新規4社)	実施するも設定レベルは未達成	イクボス育成にも取り組む、ワーク・ライフ・バランスがより推進されることを目指している。企業への個別の働きかけが十分でないのが課題	継続実施

【基本方針3】子どもの笑顔あふれるまちづくり

①親と子の健康と福祉の充実

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
60	妊婦健康診査・歯科健康診査の実施	委託医療機関において、妊娠中に健康診査・歯科健康診査を実施します。	保健センター	◆妊婦一般及び歯科健康診査の継続実施	妊婦健診11,154件 妊婦歯科健診432件	妊婦健診11,175件 妊婦歯科健診416件	設定レベルを達成	—	継続実施

61	乳児家庭全戸訪問事業の実施【再掲】	生後4か月までの乳児がいる家庭に対し全戸訪問を行い、育児不安が解消されるよう、相談等に応じます。	保健センター	◆乳児家庭全戸訪問事業の継続実施	977件 訪問率 97.4%	931件 訪問率 96.7%	設定レベルを達成	—	継続実施
62	乳児一般健康診査の実施	委託医療機関において、健康診査を実施します。	保健センター	◆乳児一般健康診査の継続実施	1,768件	1,685件	設定レベルを達成	—	継続実施
63	幼児健康診査の実施	1歳6か月児・3歳児健康診査を実施します。	保健センター	◆幼児健康診査の継続実施	各月1回実施 1歳6か月 953人 95.9% 3歳児 981人 97.0%	各月1回実施 1歳6か月 958人 95.8% 3歳児 964人 95.0%	設定レベルを達成	—	継続実施
64	養育支援訪問事業の実施	子どもの健全育成を促すとともに虐待の未然防止に取り組むため、妊婦及び乳幼児のいる家庭を訪問して、早い時期から個別の相談等に応じます。	保健センター	◆養育支援訪問事業の継続実施	延2,968人	延3,677人	設定レベルを達成	—	継続実施
65	予防接種の実施	予防接種法及び感染症予防法に定められた定期予防接種を実施します。	保健センター	◆予防接種の継続実施	乳幼児定期予防接種接種者数 延べ 20,231人	乳幼児定期予防接種接種者数 延べ 20,521人	設定レベルを達成	—	継続実施
66	産科医等確保支援事業の実施	産科医を確保し、地域で安心して出産ができる環境を整備します。	保健センター	◆産科医等確保支援事業の継続実施	3医療機関 883件	3医療機関 904件	設定レベルを達成	—	継続実施
67	児童虐待の早期発見・予防の充実	児童虐待の発生を察知し、子どもの最善の利益を確保します。	保健センター 子育て支援課	◆児童虐待の早期発見・予防の充実	児童虐待対応マニュアルを作成し、研修会を8回実施（保健センター1回を含む）児童虐待防止啓発講演会を11月に実施	妊娠期からの児童虐待防止のため、特定妊婦に関する連絡会を4回開催	設定レベルを達成	妊娠期からの児童虐待防止のため、特定妊婦に関する連絡会（児童相談所・保健センター・子育て支援課）を開催児童虐待防止啓発講演会を11月に実施関係機関のさらなる連携体制の構築が必要である	継続実施 特定妊婦の連絡会については、6回開催予定
68	食育推進計画に基づく食力（しょくじから）の推進	妊娠前から途切れることなく子どもの成長に応じた食育を推進し、適切な食習慣を確立するとともに、共食や調理体験を通して親子の愛情を育み、親子の絆を深めます。	保健センター	◆食育推進計画に基づく食力（しょくじから）の推進	食育推進事業延参加者数 6,007人	食育推進事業延参加者数 5,960人	設定レベルを達成	—	継続実施

②障がいや発達に遅れのある子どもへの支援

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
69	発達相談の実施	言語や情緒などの発達が気になる子どもに対して、個別や集団で発達支援の場を設け、親子ともに支援します。	発達支援課 保健センター	◆発達相談の継続実施	総合相談延べ件数 957件 健診時併設 22回・106人 個別 55回・106人	総合相談延べ件数 1,117件 健診時併設 22回・74人 個別 48回・84人	設定レベルを達成	関係機関や保護者等の依頼を受け相談を行い、必要に応じて発達検査や早期療育等の支援につなげた 継続支援のためには、専門的知識を持つ臨床心理士の職員配置が必要である	継続実施
70	障がい児保育事業の充実	保育所で行う集団保育が適切に実施できる範囲内で、保育を必要とする障がい児等を保育所で受け入れ、障がい児等の成長発達を図ります。	子育て支援課	◆障がい児保育事業の充実	対象児童 87人 加配保育士 35人	対象児童 81人 加配保育士 33人	設定レベルを達成	集団保育を行うことにより障がい児の発達が促進され、保護者の就労支援の面からも、障がい児保育の需要は高まっている	継続実施

71	障がい児通所支援事業の実施【再掲】	障がい児の年齢や障がい特性に応じて「児童発達支援」や「放課後等デイサービス」等の通所支援を行い、障がい児の健全育成と保護者の負担軽減を図ります。	地域福祉課	◆障がい児通所支援事業の継続実施	利用者 延べ 3,087人	利用者 延べ 3,087人 (見込)	設定レベルを達成	—	継続実施
72	発達支援の推進	障がいや発達課題のある子どもの乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応した継続的かつ一貫した支援体制の整備を進め、地域とともに育ち・学び・働き・暮らす支援のシステムづくりを進めます。	発達支援課	◆発達支援の推進	地域発達支援協議会実施回数 3回/年	地域発達支援協議会実施回数 3回/年 (うち1回は専門部会)	設定レベルを達成	就学前の各機関の支援の在り方を協議するとともにアンケート調査を実施し、就学前における支援の在り方について検討を進めた。	継続実施
73	特別支援教育の推進	障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援します。	発達支援課	◆特別支援教育の推進	学校特別支援教育支援員の配置 小学校 84人 中学校 20人 幼稚園 6人	学校特別支援教育支援員の配置 小学校 86人 中学校 18人 幼稚園 4人	設定レベルを達成	適切な配置をするとともに、適切な支援につながるよう研修や指導を継続していく	継続実施
74	障がい児タイムケア事業の実施【再掲】	障がい児(小・中・高校生)を対象に、学校の放課後や長期休みにおいて、適切な遊びや生活指導等を実施し、障がい児の健全育成と保護者の就労支援及び家族の負担軽減を図ります。	地域福祉課	◆障がい児タイムケア事業の継続実施	実利用者数 22名 利用回数 延べ 1,570回	実利用者数 19名 利用回数 延べ 1,574回	設定レベルを達成	—	継続実施
75	日中短期入所事業の実施【再掲】	障がい者(児)の日中における活動の場を確保し、保護者の就労支援及び家族の負担軽減を図ります。	地域福祉課	◆日中短期入所事業の継続実施	利用回数 1,682回	利用回数 1,581回	設定レベルを達成	—	継続実施
76	障がい児家庭への各種手当の支給【再掲】	障害児福祉手当・特別児童扶養手当(20歳未満)など、障がい児家庭への支援を行います。	地域福祉課 子育て支援課	◆障がい児家庭への各種手当支給の継続実施	障害児福祉手当 受給者数 99人	障害児福祉手当 受給者数 94人	設定レベルを達成	—	継続実施
77	自立支援給付事業の実施【再掲】	保護者が病気等で家庭での介護が困難な場合の短期入所事業や居宅介護事業等を行い、障がい児の健全育成と保護者の負担軽減を図ります。	地域福祉課	◆自立支援給付事業の継続実施	利用者 延べ 249人	利用者 延べ 249人(見込)	設定レベルを達成	—	継続実施
78	経過観察児フォローアップ事業の実施	経過観察を必要とする幼児と保護者を支援します。	保健センター	◆経過観察児フォローアップ事業の継続実施 ◆にこにこクラブ卒業後の保護者を対象とした交流会の実施	にこにこクラブ 12回/年 延 153人 保護者交流会 2回/年 母親 22人参加	にこにこクラブ 12回/年 延 166人 保護者交流会 3回 母親 21人参加	設定レベルを達成	—	継続実施
79	地域における療育支援体制の整備	障がいや発達課題のある子ども児に対する専門的な療育支援体制の整備を図ります。	地域福祉課 発達支援課	◆地域における療育支援体制の整備	関係機関との情報共有及び連絡調整	関係機関との情報共有及び連絡調整	設定レベルを達成	—	継続実施

③幼保小の連携の推進

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
80	保育所等訪問支援の推進	現在保育所等を利用中または利用予定の障がい児が、保育所等における集団保育に適応するための専門的な支援を提供するとともに、心理専門家等による保育所等での巡回相談を実施し、障がいや発達課題のある子どもへの早期支援を実施します。	地域福祉課 発達支援課	◆保育所等訪問支援事業の実施 H29 24人日/月 ◆巡回相談の継続実施	保育所等訪問支援事業 0人日/月 巡回相談 706件	保育所等訪問支援事業 0人日/月 巡回相談 666件	実施するも設定レベルは未達成	保育所等訪問支援事業については、保護者へのサービス周知や理解、受け入れる保育園等の環境整備が必要であり、現時点で利用には結びついていない	サービス提供事業所、受け入れる保育園等と調整し、必要とする保護者にサービス提供ができる環境整備を進める
81	幼保小連携推進モデル事業の実施	これまでの幼保小連携推進の取組の成果を踏まえ、そのノウハウの共有化を図るとともに、先進的な取組を行います。	学校教育課 子育て支援課	◆幼保小連携推進モデル事業の実施	未実施	未実施	未実施	県のモデル事業終了により、幼保小連携推進協議会の中での対応とした	通常の幼保小連携事業の中での取り組みを継続

82	幼保小の教職員の連携強化	幼保小のそれぞれの現場で働く教職員の横の連携を強化し、子どもの健やかな育ちを横断的かつ重層的に支援します。	学校教育課 子育て支援課	◆幼保小の教職員の連携強化	幼保小連携推進協議会開催数 2回 各小学校校区ごとに幼保小連絡協議会を実施 新居浜市全体会を年2回実施 (7/17・2/29)	幼保小連携推進協議会開催数 2回 各小学校校区ごとに幼保小連絡協議会を実施 新居浜市全体会を年2回実施 (7/14・2/21)	設定レベルを達成	幼保小連携推進協議会と各小学校区の連携協議会との連携の推進が図られた	効果的な連携方策の検討と各教職員の共通理解と一層の情報共有を進める
83	子どもへの暴力防止活動の実施	現在小学4年生に対して行っている当該活動につなげ、有効性を高めるため、就学前から子どもの人権を尊重する意識の醸成に努めます。	学校教育課 子育て支援課	◆子どもへの暴力防止活動の継続実施	いじめ・暴力から身を守る学習として、CAPプログラムワークシヨップを泉川小学校で実施(小学4年生対象分・教職員対象分・保護者・地域住民等対象分)、また教職員ワークシヨップ(市内新規採用職員等対象分)を1回実施	いじめ・暴力から身を守る学習として、教職員ワークシヨップ(市内新規採用職員等対象分)を1回実施	実施するも設定レベルは未達成	小学校におけるワークシヨップは実施希望校がなかったことから、今後の取り組みについて見直す必要がある	小学校におけるワークシヨップは廃止し、教職員ワークシヨップ(市内新規採用職員等対象分)は継続して実施することにより教職員への啓発を通じた活動の推進を図る。就学前についても、小学校でのこれまでの実績等を踏まえながら、取り組みを検討する

【基本方針4】子育てによる共育のまちづくり

①家庭における子育て力の向上

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
84	出前講座の実施	子育て支援に関する出前講座を実施します。	地域コミュニティ課	◆出前講座の継続実施	141回 7,270人	157回 7,571人	設定レベルを達成	—	継続実施
85	生涯学習大学(児童・親子対象講座)の実施	生涯学習大学で、児童・親子対象講座を開催します。	社会教育課 生涯学習センター	◆生涯学習大学(児童・親子対象講座)の継続実施	「ラジオ体操ひろめ隊」4回実施 延べ75人参加	「ラジオ体操ひろめ隊」4回実施 延べ223人参加	設定レベルを達成	—	継続実施
86	女性総合センターにおける子育て講座の実施	女性総合センターにおいて子育て講座などを実施します。	男女共同参画課	◆女性総合センターにおける子育て講座の継続実施	3回	子育て支援事業5講座 のべ180人参加	設定レベルを達成	内容を見直しながら継続実施することができた	継続実施
87	公民館における家庭教育講座の実施	子育てに関する勉強会、親子レクリエーション等の講座を実施し、家庭教育の充実を図ります。	社会教育課	◆公民館における家庭教育講座の継続実施	16校区	16校区	設定レベルを達成	—	地域との連携による講座として継続実施
88	男性の育児参画の推進	男性の育児参画に向けた活動を推進します。	男女共同参画課	◆男性の育児参画活動推進の継続実施	「パパだってもっと楽しく子育てしたい」連続講座開催 3回	「パパだってもっと楽しく子育てしたい」連続講座開催 3回	設定レベルを達成	子どもと過ごす時間がより楽しくなる3講座で期間限定の子育てをしっかりと考えることができた	内容は工夫しながら継続実施
89	ブックスタート事業の実施	赤ちゃんと保護者の絵本を介したふれあいを支援するため、5か月児健康相談(月2回)時に絵本等が入ったブックスタートバックを贈呈します。	図書館 保健センター	◆ブックスタート事業の継続実施	985冊 配布率 98.2%	918冊 配布率 95.9%	実施するも設定レベルは未達成	絵本に関する疑問などに答えながら、子育てへの絵本の取り入れを勧められた	継続実施
90	子育て事例集(かイトブック)の作成	早い段階で子育てに対する心構えと知識を身に付けるため、子育て事例集(かイトブック)を作成・配布します。	子育て支援課	◆子育て事例集(かイトブック)の作成・配布	「子育て応援ブックすくすく」を発行	「子育て応援ブックすくすく」を発行	設定レベルを達成	子育てに関する情報を取りまとめ、わかりやすく情報提供するため「子育て応援ブックすくすく」を発行	継続実施

91	イクメンのすすめ	男性の育児参画を推進するため、父親に育児のノウハウを伝え、子育て家庭における育児の負担軽減を図ります。	男女共同参画課	◆イクメンについての意識啓発 ◆父親を対象とした育児講座等の開催	「パパだってもっと楽しく子育てしたい」連続講座開催 3回	「パパだってもっと楽しく子育てしたい」連続講座開催 3回	設定レベルを達成	子どもと過ごす時間がより楽しくなる3講座で期間限定の子育てをしっかりと考えることができた	内容は工夫しながら継続実施
92	イクじい・イクばあ孫育て教室の実施	子育て経験者と子育て世代との意識差を埋めるための教室を開催します。	子育て支援課	◆イクジイ・イクバア孫育て教室の実施	未実施	「孫育て応援ブックまごにて」を発行 「イクじいイクばあ養成講座」連続講座開催 6回	設定レベルを達成	実施に向けたアンケート・情報収集を行い、「孫育て応援ブックまごにて」を発行し、第1回「イクじいイクばあ養成講座」講座開催	継続実施 養成講座受講者の地域での活躍の場の提供

②地域における子育て力の再生

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
93	要保護児童対策地域協議会の充実	地域が連携を図りながら、児童虐待の防止及び早期発見・早期対応を図ります。	子育て支援課	◆要保護児童対策地域協議会の充実	代表者会 1回 実務者会 4回 ケース会 49回	代表者会 1回 実務者会 4回 ケース会 39回	設定レベルを達成	関係機関と連携をとり、児童虐待の防止及び早期発見・早期対応を図った関係機関のさらなる連携体制の構築が必要である	継続実施
94	子ども会等地域活動の充実	子ども会等への助言や事業への協力を行います。	社会教育課	◆子ども会等地域活動の充実	各地域において実施	各地域において実施	設定レベルを達成		継続実施
95	保育所地域活動事業の充実	保育所の専門的機能を地域住民に活用してもらうため、世代間交流事業・地域の子育て家庭への育児講座・保育所卒園児童との交流等の活動を行います。	子育て支援課	◆保育所地域活動事業の充実	実施園 26施設	実施園 26施設	設定レベルを達成	—	継続実施
96	地域子育て人材バンクの活用	地域の中で子育てに関わる人材の掘り起こしと活用を図ります。	子育て支援課	◆地域子育て人材バンクの設置及び活用	未実施	「子育てアシスタント養成講座」連続講座開催 8回 「イクじいイクばあ養成講座」連続講座開催 6回	設定レベルを達成	アシスタント養成講座、イクじいイクばあ養成講座を開催し、子育てに関わる人材の育成を行い、地域の中で活躍中	継続実施
97	地域子育て支え合い推進事業の実施	地域住民が子育てについて考えるきっかけをつくり、子どもたちの笑顔とやる気を引き出すためのきっかけづくりを進めます。	子育て支援課	◆実践子育てすごろくブックの利活用等による子育てワークショップの開催	未実施	未実施	未実施	実施に向けた情報収集を行った	情報収集を継続するとともに、孫育て応援事業等との効果的な連携を検討する

③地域における子どもの健全な発達のための良質な環境整備

No	事業名	実施内容	担当課	実施目標	H27実績 [単位]	H28実績 [単位]	H28評価内容	H28評価理由 及び課題	H29対応方針
98	児童センター・児童館・図書館の活用	市内4か所の児童センター・児童館において子どもの健全な育成と親子の交流を図るための遊びの場を提供するほか、図書館において絵本の読み聞かせを行い、子どもの心を豊かにし、読書を通じて生きる力を育みます。	子育て支援課 図書館	◆児童センター・児童館・図書館の活用 ◆図書館での絵本読み聞かせ	児童館利用者数 103,886人 (H27.12.31) 前年度同時期比 7,191人増 図書館でのお話会 81回 参加者 子ども 900人 大人 532人	児童館利用者数 108,681人 (H29.3.31) 前年度同時期比 2,249人増 図書館でのお話会 83回 H29.3 参加者 子ども 1212人 大人 753人	設定レベルを達成	児童館の目的を達成するための取り組みを行い、適正な管理運営ができた読み聞かせボランティアの協力も得て、図書館での読み聞かせ講座を実施し、絵本での子育てを広げた。読み聞かせボランティアの研修会を実施した。	継続実施
99	教育・保育施設等の活用	保育所・幼稚園の専門的機能を地域住民に活用してもらうため、世代間交流事業・地域の子育て家庭への育児講座・卒園児童との交流等の活動を行います。	子育て支援課 学校教育課 社会教育課	◆教育・保育施設等の活用	保育所等での地域活動事業の実施(保育所26施設外)	保育所等での地域活動事業の実施(保育所26施設外)	設定レベルを達成	—	継続実施

100	放課後子ども教室の実施	公民館等を活用して、安全・安心な子どもたちの居場所を設け、放課後や週末のスポーツ・文化活動等を実施します。	社会教育課 学校教育課 (H29～)	◆放課後子ども教室の継続実施 H29参加延べ人数/ 教室 740人 H31参加延べ人数/ 教室 740人	9教室	9教室	設定レベルを達成	—	継続実施
101	放課後まなび塾の実施	小学校や公民館を活用して、放課後に学習支援員のサポートによる学習の場を設けることにより、学習習慣の定着と学力の向上を図ります。	学校教育課	◆放課後まなび塾の継続実施 H31開設数 16か所/16小学校区	4小学校区で実施	8小学校区で実施	実施するも設定レベルは未達成	教員OB等の学習支援員の確保が難しいことから、開設場所の拡大が困難な状況である	条件整備が整ったところから順次開設を図る
102	保育園の地域開放（保育園へ行こうデーの設定など）	保育園が地域における子育て支援拠点（赤ちゃん休憩所を含む）であることの普及啓発を図り、地域内での交流・連携を促進します。	子育て支援課	◆保育園の地域開放の実施（保育園へ行こうデーの設定など）	未実施	未実施	未実施	実施に向けた協議を行った	協議継続
103	子育て支援イベントの開催	市内における子育て支援の広報啓発を行うとともに、子育て家庭と各施設等との交流促進を図ります。	子育て支援課	◆子育て支援イベントの開催	未実施	未実施	未実施	具体的かつ効果的な実施方法等についての関係者協議が必要である	ロビー展等を活用した子育て支援の広報啓発を行うとともに、今後の実施に向けた調査研究及び関係者協議を進める H29.4 子育て支援拠点事業のロビー展は実施済み